

食品安全委員会の12月の運営について

1. 食品安全委員会の開催

第312回 12月3日（木）

- (1) 食品健康影響評価の要請
 - ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

| | |
|----------------|---|
| 添加物(1品目) | トリメチルアミン |
| 遺伝子組換え食品等(2品目) | ①チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシBt11系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR162系統とコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR604系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシGA21系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種（既に安全性審査を経た旨の公表を行った4品種は除く） ②チョウ目害虫抵抗性ワタCOT102系統（食品・飼料） |

- (2) 食品健康影響評価に係る補足資料の提出に関してリスク管理機関から報告

- (3) 各専門調査会における審議結果についての報告
 - ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

| | |
|----------------|---|
| プリオン専門調査会(1案件) | 我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品健康影響評価（オーストラリア、メキシコ、チリ、コスタリカ、パナマ、ニカラグア、ブラジル、ハンガリー） |
|----------------|---|

- (4) 食品健康影響評価
 - ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

| | |
|----------------|---|
| 農薬(1品目) | チジアズロン |
| 動物用医薬品(1品目) | ニューカッスル病・マレック病（ニューカッスル病ウイルス由来F蛋白遺伝子導入マレック病ウイルス1型）凍結生ワクチン（セルミューンN） |
| 遺伝子組換え食品等(1品目) | ARG-No. 2株を利用して生産されたL-アルギニン |

- (5) 食品安全委員会の11月の運営について事務局から報告

第313回 12月10日（木）

- (1) 平成22年度食品健康影響評価技術研究の研究領域の候補について、廣瀬委員及び事務局から説明後、案とおり決定
- (2) 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成21年11月分）について事務局から報告

第314回 12月17日（木）

(1) 食品健康影響評価の要請

- ・以下の案件についてリスク管理機関から説明

| | |
|--------------|--|
| 農薬（3品目） | エチプロール、キャプタン、フラザスルフロン |
| 器具・容器包装（6品目） | フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(DEHP)、フタル酸ジブチル(DBP)、フタル酸ベンジルブチル(BBP)、フタル酸ジイソノニル(DINP)、フタル酸ジイソデシル(DIDP)、フタル酸ジオクチル(DNOP) |

(2) 各専門調査会における審議結果についての報告

- ・各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

| | |
|-----------------------------|---|
| 農薬専門調査会（1品目） | プロピリスルフロン |
| 肥料・飼料等/微生物・ウイルス合同専門調査会(1案件) | 牛及び豚に使用するフルオロキノロン系抗菌性物質に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価 |

(3) 食品健康影響評価

- ・以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

| | |
|---------|--------------------|
| 農薬(2品目) | 1-メチルシクロプロペン、メプロニル |
|---------|--------------------|

(4) 食品安全モニターからの報告（平成21年10月分）について、10月中に報告された32件について事務局から報告

(5) 小泉委員長から、年末年始は「おもち」を食べる機会が増えるため、窒息事故が増えることが心配されるので、事務局は、食品による窒息事故の防止について注意喚起するようにとの提案があり、ホームページなどで周知することとなった

2. 専門調査会の運営

(1) 企画専門調査会

第32回 12月17日（木）

- ・専門委員改選に伴い専門委員の紹介、専門調査会の運営等について説明及び座長の選出
- ・食品安全委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件の検討・選定について審議した結果、本年度の自ら評価案件候補として、「アルミニウムに関する食品健康影響評価」及び「トランス脂肪酸に関する食品健康影響評価」の2案件を食品安全委員会に報告することを決定
- ・平成21年度食品安全委員会運営計画の実施状況の中間報告等について、事務局から説明

(2) 緊急時対応専門調査会

第30回 12月15日(火)

- ・ 専門委員改選に伴い専門委員の紹介、専門調査会の運営等について説明及び座長の選出
- <緊急時対応マニュアルの見直しについて>
- ・ 見直し理由及び見直し内容について、事務局から説明
 - ・ 関係府省申合せ(食品安全関係府省緊急時対応基本要綱、緊急対策本部設置要綱、食品安全関係府省食中毒等緊急時対応実施要綱)の廃止及び食品安全委員会決定(食品安全委員会緊急時対応基本指針、食品安全委員会食中毒等緊急時対応実施指針)の改正について審議し、了承
 - ・ 食品安全委員会決定の改正については、一部記載内容を修正の上、別途専門委員の了解を得ることとなった
- <平成21年度食品安全委員会緊急時対応訓練について>
- ・ 「平成21年度食品安全委員会緊急時対応訓練について(一部改正案)」について、事務局から説明
 - ・ 実務研修と確認訓練の2本立ての訓練設計について審議し、了承

(3) 添加物専門調査会

第81回 12月15日(火)

- ・ 「トリメチルアミン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・ 添加物に関する食品健康影響評価指針案に対して寄せられた御意見について検討した結果、回答案及び指針案を一部修正の上、食品安全委員会へ報告することを決定

(4) 農薬専門調査会

第28回 確認評価第二部会 12月1日(火) ※非公開

- ・ 「シクラニリド」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、幹事会に報告することを決定
- ・ 「ノルフルラゾン」について調査審議し、継続審議となった

第58回 幹事会 12月8日(火)

- ・ 「エトプロホス」、「オキシフルオルフェン」及び「メトミノストロビン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定
- ・ 1-メチルシクロプロペン農薬評価書(案)の修正について審議し、了承

第28回 確認評価第一部会 12月9日(水)

- ・ 「ラクトフェン」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、幹事会に報告することを決定

第29回 確認評価第一部会 12月9日(水) ※非公開

- ・ 「トリシクラゾール」について調査審議し、継続審議となった

(5) 動物用医薬品専門調査会

第120回 12月22日(火)

- ・「アセトアミノフェンを有効成分とする豚の経口投与剤（アレンジャー10、アレンジャー30）」について調査審議し、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定

(6) 器具・容器包装専門調査会

第12回 12月24日(木)

- ・平成20年度食品安全委員会の食品安全確保総合調査として実施した「合成樹脂製の器具・容器包装に含まれる化学物質の健康影響評価に関する調査」の調査結果について報告された
- ・器具・容器包装に使用される合成樹脂のリスク評価に関するガイドライン（案）について審議した結果、専門委員及び専門参考人からなる少人数の検討グループで重点的・効率的に内容の追記・修正等を行った上で、次回以降の調査会で引き続き審議することとなった

(7) 新開発専門調査会

第64回 12月18日(金)

- ・専門委員改選に伴い専門委員の紹介、専門調査会の運営等について説明及び座長の選出
- ・「消費者庁及び消費者委員会の設置について」、「高濃度にジアシルグリセロール（DAG）を含む食品について」、「消費者庁における、健康食品の表示に関する検討会について」及び「特定保健用食品の今後の審議予定品目について」事務局から説明

(8) かび毒・自然毒等専門調査会

第14回 12月4日(金)

- ・専門委員改選に伴い専門委員の紹介、専門調査会の運営等について説明及び座長の選出
- ・デオキシニバレノール及びニバレノール（食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価）に関して、前回の審議を踏まえ、評価書案たたき台（背景、評価対象物質の概要及び実験動物等における体内動態の部分）の修正を行った点について、事務局より説明
- ・評価書案たたき台（実験動物等における毒性、ヒトにおける知見、諸外国における評価の部分）について、事務局より説明
- ・継続審議となった

(9) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第77回 12月14日(月) ※非公開

- ・「チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシBt11系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR162系統とコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR604系統と除草剤グリホサート耐性トウモロコシGA21系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種（既に安全性評価が終了した4品種は除く。）」について調査審議し、指摘内容を確認の上、評価書（案）を了承することとなった

- ・「チョウ目害虫抵抗性ワタCOT102系統(食品・飼料)」について調査審議し、継続審議となった

(10) 肥料・飼料等専門調査会

第34回 12月25日(金)

- ・「セファレキシン」及び「クラブラン酸」について調査審議し、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することを決定

3. 意見交換会等の開催

(1) 意見交換会

「食品のリスクを考えるワークショップ(大分)～どう思う?食品添加物～」

12月1日(火) <大分県大分市>

- ・大分県及び厚生労働省との共催により開催
- ・グループワーク1では、食品添加物の制度についての解説を聞き、気になったこと、感じたこと、思ったことなどをグループで整理
- ・意見交換では、グループワークで行った内容の発表を受け、食品添加物の安全性についてや、大分県での取組状況などを中心にコメンテーターとの質疑応答を実施
- ・グループワーク2ではワークショップのふりかえりとして、食品添加物について、一番印象に残ったことなどをグループで話し合いを行った
- ・グループワークの際には、大分県地域リスクコミュニケーション推進員に、各グループ進行役として参加いただいた

ジュニア食品安全委員会@岐阜 アンゼンキングクイズ

12月1日(火) <岐阜県大垣市>

- ・岐阜県との共催により開催
- ・一之瀬小学校で、家庭教育学級に合わせ、食品安全に関するクイズを実施

食品安全委員会セミナー「食品分野におけるナノテクノロジーの今ー世界の動きを中心にー」

12月11日(金) <東京都千代田区>

- ・食品安全委員会の主催で開催し、立川 雅司 氏(茨城大学農学部准教授)から「食品分野におけるナノテクノロジーについて」、アンドリュー・バートーロマス 氏(オーストラリア・ニュージーランド食品安全基準庁リスク評価部門ゼネラルマネージャー・食品分野におけるナノテクノロジー利用に関するFAO/WHO専門家会議議長)から「食品分野のナノテクノロジーーオーストラリアの展望と世界的展望ー」と題して講演を行った後、会場との意見交換を実施

「食品に関するリスクコミュニケーションー我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品健康影響評価（自ら評価）ー」

12月15日（火）＜大阪府大阪市＞

12月18日（金）＜東京都千代田区＞

- ・ 食品安全委員会の主催で開催し、大阪会場では山本 茂貴 氏（食品安全委員会プリオン専門調査会専門委員、国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部長）から、東京会場では吉川 泰弘 氏（食品安全委員会プリオン専門調査会座長、東京大学大学院農学生命科学研究科教授）から、「我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品健康影響評価のプリオン専門調査会における審議結果（案）」について講演を行った後、会場との意見交換を実施

（２）食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座（インタープリター型）

12月3日（木）～4日（金）＜北海道札幌市＞

- ・ 1日目は、講師が、食品安全委員会の概要、インタープリターに期待すること、リスクのとらえ方、リスク評価の実際（BSE）を中心に説明した後、受講者は、当委員会が用意したスライド資料をたたき台にして、有効な資料に仕上げるには何が必要かなどを討議を実施
- ・ 2日目は、講師が、当委員会が行っている食品のリスク評価（農薬）を説明した後、演習の一環として行われる小規模意見交換会「アフタヌーンカフェ」の効果的な進め方、設営準備の実際等を経験し、実際に、受講者が役割分担しながら、アフタヌーンカフェを開催

（３）講師等派遣

- ・ 地方公共団体企画や各種団体企画の講演会等へ委員が講師として参加した

| 月 日 | 講演会名 | 対応委員 |
|--------|---|------|
| 12月16日 | 日本生活協同組合連合会第4回食品の安全にかかわる組合員リーダー向け連続セミナー | 野村委員 |